



## 赤ちゃんの耳の聞こえ (聴覚)の検査について



### 新生児聴覚スクリーニングについて

生まれてきた赤ちゃんのすこやかな成長は、みんなの願いです。しかし、生まれてくる赤ちゃんの1,000人のうち1～2人は、生まれつき耳の聞こえに障害を持つと言われていています。聞こえの障害の発見が遅れると、言葉の発達が遅れる原因にもなります。早く発見して、適切な療育をしてあげることが、赤ちゃんの言葉の発達と心の成長のためにとっても大切です。

検査を実施しているか否か、検査の内容等の詳細は、医療機関にお問い合わせください。

### ◆検査の方法について

赤ちゃんの耳の聞こえを自動的に判定する(新生児聴覚スクリーニング)検査装置を使い、多くは出生後入院中に赤ちゃんの自然睡眠中に検査を行います。検査に要する時間は、ほんのわずかの時間で、痛みなどはありません。

### ◆検査費用について

検査は強制ではありませんが、生まれたときに聞こえに異常がないかどうかを確認する意味でも、この検査を受けられることをお勧めします。検査費用については、医療機関にお問い合わせください。

子どもは、耳や目に異常があっても、自分から訴えることはありません。お子さんの成長を見守っているお父さん・お母さんや周囲の大人が、早くに異常に気づき、早期療育を開始することで、障害を予防・軽減しましょう！